

センター・職安前拠点化の一週間行動を 引きつぎ、又20回釜ヶ崎メーデーに 決起しよう!

仲間たち、
釜日方は、八ヶ崎において、最後準備をキコッアップ、ヤセ、
二万五千人以上を闘うことになってきた。いよいよ、
仕事が減り出し、アブ時期に入ってきた中で、春闘で確立
した条件を防衛していく闘いの時期である。
五月以降、本格的に春闘条件防衛の闘いをすすめていく
ために、まずは月14日から20日にかけて釜日方、全務班を
核にして闘った。センター、職安前拠点化の一週間行動を
引きついで、センターメーデーに向けたこの情宣行
動をもつて、センター拠点化をさらに進める決意である。
その闘いの一環として、明日は、市民館において、春期
学習会の第一回を「天皇制を考える」としてやる。これは
い。二の春期学習会は、一回め3月31日「労保法の改
悪と労働者代表選挙法のわらい」、二回め4月1日「コアジ
アからの出がせキ労働者」としてやる。二回め4月1日「コアジ

1. 戦争と差別の元凶「天皇制はらぐん」西成
パレード2. 24天皇国家葬「大喪」粉砕斗争を
引きつぎ、即位式に向けた天皇制攻撃と対決しよう!

明日4/25 春期学習会文3回に結集しよう!

ビデオを撮ってきた聖断・沖繩戦への道による6じ竹分々、市民館
問題提起「大喪から大じよう案に向けた天皇制攻撃の動き」

敵の攻撃のわらいは何か、まじかりと見すえて、わし
ら日雇労働者の闘う目標をどうするかを目的にお
「なつてきた。
今回「天皇制」を考えるの目的は、昨年の目末か
ら本格化した「天皇の死」Xデーの攻撃と、本年1月7
日の天皇(ヒロヒト)の死とマキヒトへの代替わりから、2
月24日の天皇の国家葬「大喪」にかけて、日帝ブルジ
ヨアニーはどのようについに天皇制を強化し、その下へわし
ら労働者、人民を統合しようとしてきたのか、そして「大
喪」を終えて、次は何をわらうているのかを、まじかり
と見すえての闘いである。
いま、敵、日帝ブルジョアは、アジアの人民を「
大東亞戦争」を中心とした侵略戦争によって、また強引
連行によって数千万人も虐殺した最高責任者である。戦
犯(ヒロヒト)の死に、経済的おごりをもつて韓国、フィリ

「500年アジアの各國をばじめ、百六十三ヶ国を出海させ、その楢のまえにコラバをたれさせ、いままた新天皇アキヒトの韓国訪問を策動しては、これは、アジアの支配者として「現代版大東亜共栄圏」の盟主として、日本と天皇とアジアの人民に認知させたい」とする攻撃である。

「かに、直接の侵略戦争の決定、指揮者であつた天皇は、口下で死のことも、口下で裁断を交わしたことの根柢は、天皇制そのものにあるがゆえに、口下でアキヒトに代わりしものも、その戦争と侵略と虐殺の責任は、天皇制があるがぎり、代々の天皇後継者におおいかぶさつていくものなのである。

仲向たち、

天皇制とは、わしの日本の労働者、人民と自衛隊、ヨアジの支配に屈せよ、アジアの人民と敵対させていくためのものである。

東京、7月7日天皇と口下の死に服喪を強制されたために、現場を止めて、奴らはわしらの仕事を強制的にうばつたではないか。また、多くのアオカ、まじいられていふ仲向たちが、東京で「天皇の葬式に向わりだ」との理由で、排除されカフリ収容されたではないか。

天皇制とわしらの自衛隊労働者とは、相入れないものである。山谷における天皇主義台詞、日本国粋系金野一家との斗い、あたらからなつた、右翼と左翼がわしらの自衛隊労働者を暴力支配するために持ち出す大義名が、「天皇のため」なのだ。天皇と天皇制とは、まやにわしらを暴力支配し使用するための動員、屈伏させていくためのものなのだ。

仲向たち、

「8」戦争と差別の元凶は天皇制はいらん、西成パレードと、24日天皇國葬「大喪」粉砕の斗いを引きつぎ、天皇制との斗いを強めていく意志をかためるために、明日の「春期闘争」にて結集しよう。

その力を武器に、天皇制を「日の丸」労働運動をかかげ、帝國主義の手先、全労連と対決して、5、1、20回釜ヶ崎メーデーを戦時的デモで三日月にしよう。

4、30日メーデー前夜祭

よる6じ、三角公園にあつまるう。

この労災事故について情報を釜日労へ

生き埋め2人死ぬ

宝塚 排水管理設中、土砂崩れ

二十一日午後四時十五分ごろ、兵庫県宝塚市川面長尾山の市営長尾山公園で、同県尼崎市武庫豊町三建合会社徳人が深さ三、幅二、長さ二、五の穴の底で、排水管の埋設作業中、突然、側面の土砂が崩れ、生き埋めになった。通報で駆けつけた宝塚市消防

× 労災もみけし
 × 賃金不払い
 × 条件違反
 × 暴力事件など
 労働相談は
 釜日労へ
 解放会館2か
 月～土
 あさ9じ～6じ

本部のレスキュー隊員と現場にいた同僚ら計二十五人が手で穴を掘り約三十分後に二人を救出して病院に運んだが、二人は窒息のため、まもなく死亡した。

宝塚署の調べでは、金さんらは、この日午前八時から同僚十人と作業を開始。パワーショベルで穴を掘り、排水管の埋設作業をしていたが、作業終了直前になって突然、片側の土砂が幅約二・五にわたって崩れたらしい。同署は安全管理に問題がなかったかなど、現場責任者らから事情を聴いている。

関さんは、この日から徳山組で働き始めたといひ、同署で身元確認をしたところ、今月八日に徳光ビザで韓国から来日していることがわかった。同署は不法就労の疑いもあることから雇用のいきさつなどについて徳山社長から事情を聴く。